

No.	1	名称	イオンモール名古屋茶屋
整備時期	2014年6月	所在地	名古屋市港区西茶屋2丁目11

《概要》

敷地内で集めた雨水のろ過や敷地外への流出抑制など雨庭システムの実際的な効果を期待すると同時に、モデルガーデンとして地域の環境教育に活用していただくことを想定して設置されました。

小さなモデルガーデンでも仕組みを知ることにより、グリーンインフラや生物多様性保全など環境問題に思いを馳せるきっかけになり得ることを期待しています。

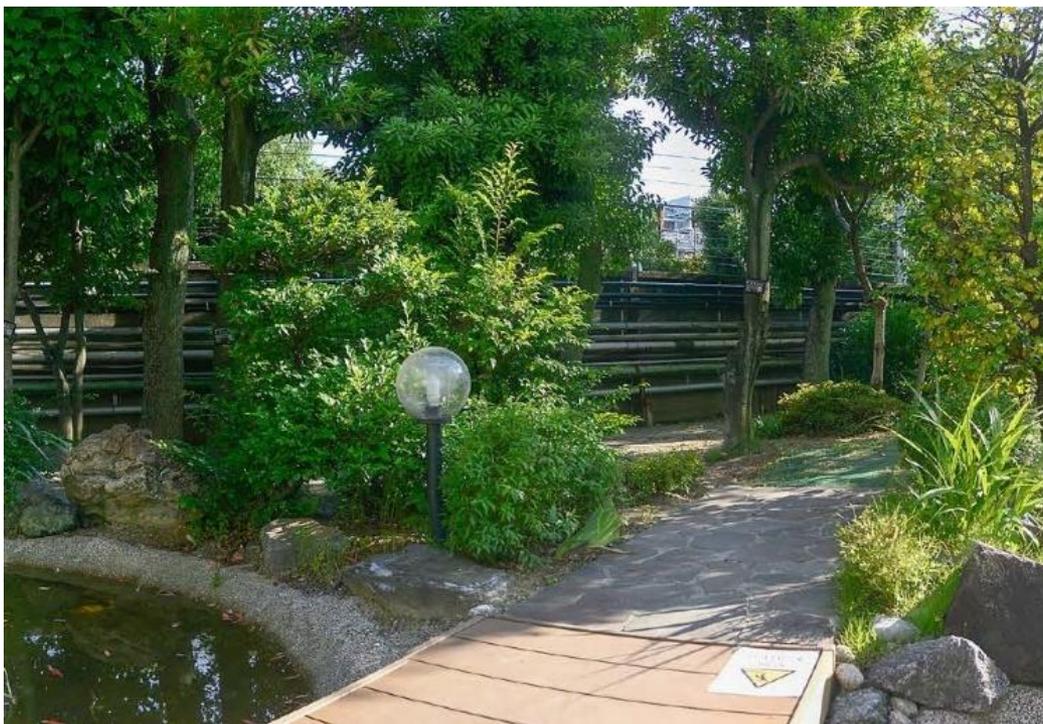


No.	2	名称	グリーンサイクル株式会社 グリーンガーデン
整備時期	2015年2月	所在地	名古屋市港区昭和町13

＜概要＞

ビオトープとして整備した池の水に雨水を利用しています。池の底には透水性のあるシートを設置し、水はゆっくりと地面に浸み込んでいきます。めだかやトンボなどの生き物が生育しています。

また、工場棟の屋根に降った雨を貯め、トイレの洗浄水をはじめ様々な場所で使用するなど、雨水の活用も行っています。

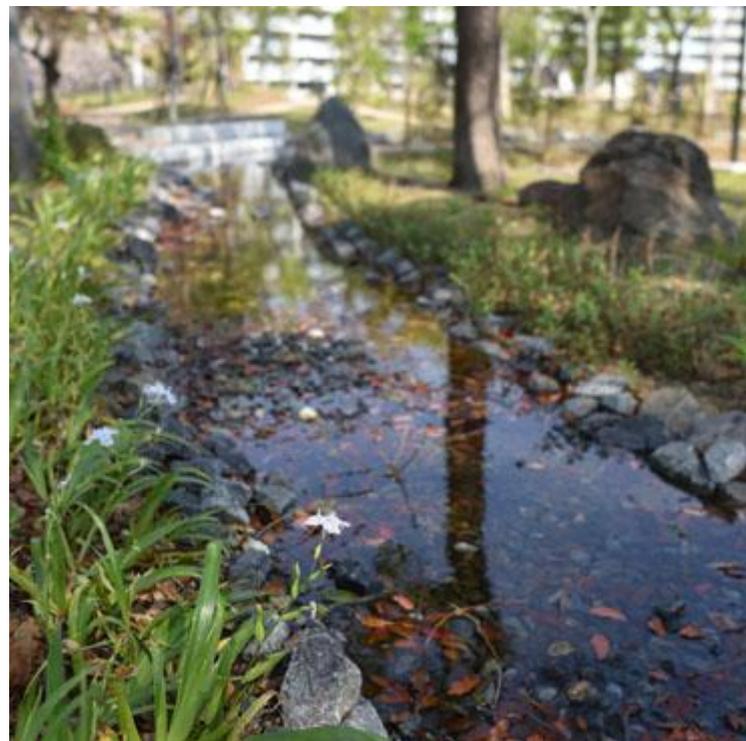
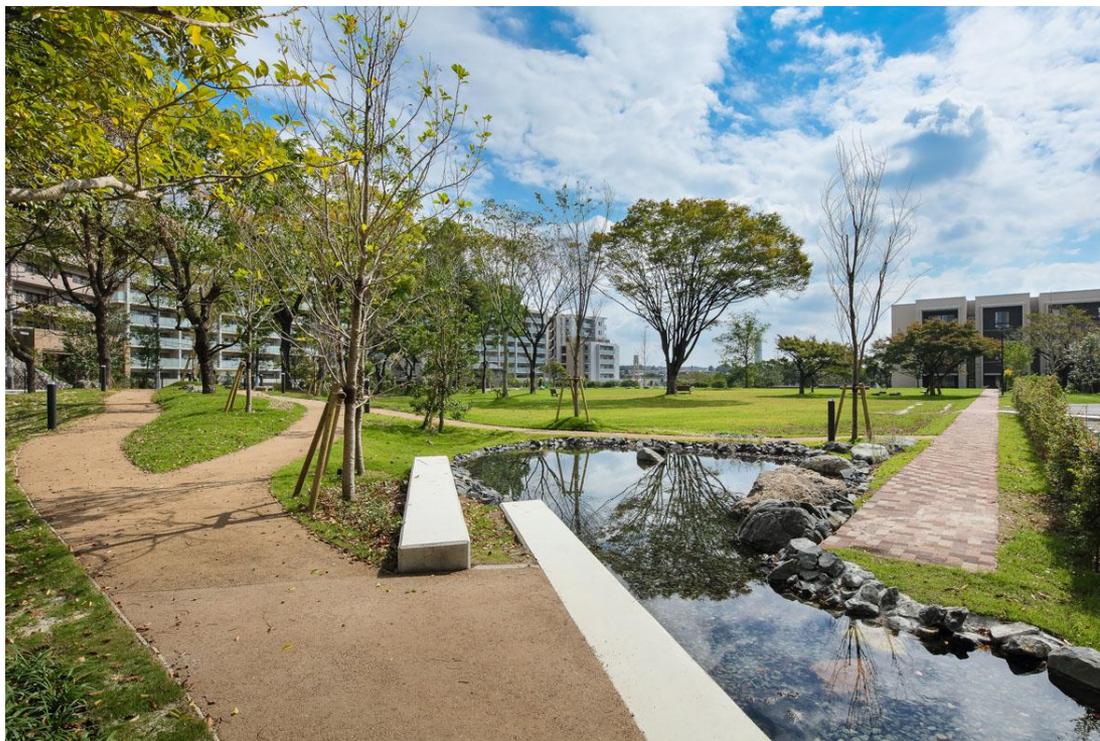


No.	3	名称	愛知県精神医療センター
整備時期	2018年8月	所在地	名古屋市千種区徳川山町4-1-7

《概要》

駐車場、芝生広場に隣接する水路にて雨水を浸透・集水させる水路を整備しています。水路途中にはビオトープ池もあり、めだかや金魚などが生育しています。

ランドスケープデザインを取り入れ、雨水排水そのものを見せることで、雨後の数日間だけ楽しめる自然の水景が見られます。



No.	4	名称	東海国立大学機構 Common Nexus (ComoNe)
整備時期	2025年3月	所在地	名古屋市千種区不老町

《概要》

緩やかな湾曲状の屋根を緑化（写真①）し、降った雨を集水桝にあつめ、その水がクスノキ並木沿いに設置された浸透管（穴が開いた管）を通り、土中に浸透することにより並木や植栽にうるおいを与えます（写真②）。

図書館前広場には雨水貯留浸透施設を設置し、降った雨を一時的に貯め、また土中に浸透もさせています。



写真①



写真②

舗装の下に、
浸透管を設置して
います。

No.	5	名称	名城公園グリーンインフラ啓発スポットの雨庭（名古屋市環境局）
整備時期	2025年10月	所在地	名古屋市北区名城1丁目（名城公園内）

《概要》

雨庭の直上に降った雨と、周囲の植栽に降った雨が流入します。雨庭には砕石や砂利が充填されており、隙間に雨水を貯留する能力やそこから地中に浸透する能力があります。

雨庭の他に生物多様性に配慮した緑化や保水性舗装といったグリーンインフラを取り入れています。



市電の敷石を修景に再利用しています。



[名城公園グリーンインフラスポット（名古屋市公式ウェブサイト）](#)でも紹介しています。

No.	6	名称	瑞穂公園ラグビー場 雨花壇（名古屋市環境局）
整備時期	2025年10月	所在地	名古屋市瑞穂区山下通5丁目4番地（瑞穂公園ラグビー場内）

《概要》

ラグビー場エントランスの屋根の水が花壇に流れるように雨どいを設置しています。花壇の土の下には、碎石層をつくり、隙間に雨水を貯留しながら、ゆっくりと地面に浸透させています。このように雨水を利用した花壇を『雨花壇』と呼んでいます。花壇の植栽は生物多様性に配慮した緑化になっています。また、『雨花壇』をご自宅でも整備できるように案内看板も設置しています。

雨どい

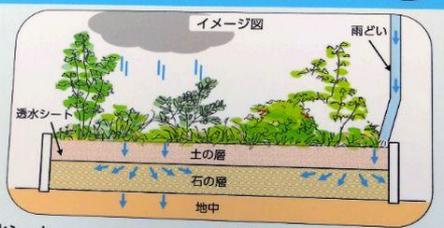


名古屋市環境局 Mizuho Park あまみず しんとう 

雨水を浸透させています

- 名古屋市では、健全な水循環の回復に向けて、雨水の浸透・貯留を増やす取り組みを進めています。
- 雨どいなどを通して下水道に流れる雨水を花壇へ流すことで、一時的に雨水を花壇内に貯めこみ、ゆっくりと地面へ染み込ませています。このような花壇を『雨花壇』と呼んでいます。
- 皆様のご自宅の花壇にも取り入れていただき、人にも生き物にもやさしいまちづくりをしませんか？

イメージ図



透水シート
土の層
石の層
地中

土の層
植物が育つための土。



透水シート
土と石の層を分け、水は通すシート。



石の層
石の大きさをそろえた水通しの良い石。



●連絡先 ご不明点や質問などがありましたら、以下の連絡先までご連絡をお願いします。

水循環・雨花壇の構造について 名古屋市環境局地球環境対策課 052-972-2675	緑地の管理について 瑞穂公園管理事務所 052-836-8200
--	--

[健全な水循環の回復についてはこちら](#) 

No.	7	名称	瑞穂公園南ひろばリニューアル（株式会社 瑞穂LOOP-PFI）
整備時期	2025年10月	所在地	名古屋市瑞穂区豊岡通3丁目

《概要》

スポーツをもっと自由に、楽しく、みんなのものにするという「LifeSports-Our Own Park」をコンセプトに瑞穂公園一帯を再整備しています。南ひろばでは、みどりが美しく涼しい公園環境・永続的な緑の空間を実現しています。

芝生の土の下に砕石を敷き詰め、降った雨を一時的に貯めつつ、土中に浸透させています。芝生の水はけを良くするための排水板も土中に設置しています。



公園内には水循環の普及・啓発看板も設置！

No.	8	名称	神宮東パークハイツ（UR賃貸住宅）における雨庭 （UR都市機構 中部支社）
整備時期	2026年3月	所在地	名古屋市熱田区三本松町21他

《概要》

誰でも立ち入ることができる団地内のプレイロット（小さな遊び場）に雨庭を整備しました。

団地の屋根に降った雨が雨樋の中を流れて雨庭へ流れます。そして、その雨水はゆっくり地中にしみ込み、周りのみどり（植物）が水を吸収し、一部は水蒸気となって空気中に戻ります。

神宮東パークハイツは、昭和50年代の建設当時より雨水浸透施設（浸透側溝など）の設置など、水循環を意識した整備が行われていました。緑豊かな神宮東公園などと一体となった屋外環境とともに雨庭を知っていただくと嬉しいです。

